

## Lesson 2 カレーは世界中を旅する

(Part 2)

その昔、インドはイギリスの植民地でした。みなさんはそのことを世界史で習ったものと思います。1772年、ベンガル地方の総督であったウォーレン・ヘイスティングズが、イギリスに「カレー」の調理法を紹介しました。彼は多くのスパイスと共に、ベンガルの主食の1つである米を持ち帰りました。彼の調理法は大成功を収め、カレーを米といっしょに食べることがイギリスで一般的になりました。

19世紀以降、カレーはイギリスで発展し続けました。その世紀の初めには、最初のカレー粉が登場しました。それまでは、カレーを作るために多くのスパイスを混ぜ合わせることは大変な作業でした。カレー粉のおかげで、カレーはもっと作りやすくなり、イギリス中に広まりました。さらに、イギリス人は小麦粉でカレーにとろみをつけ始めました。彼らは伝統的なイギリス料理であるシチューの調理法を用いて、カレーを自分たちの好みに合うように変えたのです。